

赤い羽根共同募金七十周年を迎えて

泉地区社会福祉協議会副会長 田中 伸一

泉町の皆様には、日頃より泉地区社会福祉協議会(以下「地区社協」という。)と民生児童委員協議会(以下、「民生委員」という。)に対し御理解・御支援を頂き誠に有難うございます。

助成を行っています。又、県社協では生活福祉資金貸付事業も行ってあります。これからは認知症ケア対策事業も必要となつてくると思われ

本年も十月一日より共同募金運動が始まりました。この機会に共同募金と社会福祉協議会との係わり合い、そして地区社協の事業活動を説明します。

赤い羽根共同募金と歳末助け合い募金があります。赤い羽根募金は、一部が県社協へ、七割強が市社協・地区社協に配分。歳末助け合い募金は、全額地区社協へ配分されます。昨年は泉町で、二百七十万円もの募金を頂き本当に有難うございました。

地区社協とは、自治会役員、民生委員、各種福祉団体等で構成されていて、土岐市では民生委員が活動の多くを受け持っています。他市では、福祉推進委員を町内に任命民生委員と連携協働して活動する地区もあります。

この募金で、歳末助け合い事業として準要保護家庭(二十五世帯五十名)、寝たきり介護家庭への慰問金、一人暮らし高齢者(三百八十名)への花のプレゼント事業を行いました。

暮らし高齢者の見守り、寝たきり介護の家庭・母子家庭への支援相談事業、また市社協・行政とのパイプ役、青少年育成会・老人クラブ・母子福祉会・身障者福祉協会等への

今後とも、その主旨を御理解頂きまして、地区社協への御支援賜りますようお願い申し上げます。

「泉町公民館まつり」チャリティイベントのおね

連合区女性部長 大橋 香代子

山の景色が秋色に染まってゆく中、公民館まつりが開催されました。いろいろなイベントが

計画され、多くの人たちで会場が賑わい、公民館まつりを終えることができました。



連合区女性部のチャリティーバザーを行うにあたり、バザー用品の提供として、お買い求めいただいた方々等、多くの皆様のご協力をいただき盛況に終わることができました。心よりお礼申し上げます。提供していただいた用品が、バザーを通して新たに活用されることは、物を大切に使う気持ちを育み、こみの減量になり心豊かな暮らしに繋がっていくことは、私たち女性部の願いでもあります。日ごろの生活の中で、いにしえの人から受け継いだ「もったいない」の気持ち忘れないうで

たいと思います。売上金は、9月の台風18号による災害が大きかった大分県への災害義援金に、泉・泉西公民館の運営、女性部の活動費用の一部として大切に遣わせていただきます。今後も、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



受賞!!! 土岐市駅周辺パトロール活動

泉の自治だより編集部長 瀬藤 健二

九月二十八日(木)、東京都の明治会館において平成二十九年全国防犯功労団体表彰が執り行われ、土岐市駅周辺パトロール活動が見事に警察庁長官・全国防犯協会連合会長より表彰されました。

今ではPTA・区役員等二十団体、約二百五十名によるボランティア活動として定着しました。当時は青少年が駅周辺にたむろして、治安の悪化が憂慮されていた時代。それから十数年、環境改善の一環としての地道な取り組みが実を結び、安全・安心を感じられる今日に至っています。

その報告が、十月十二日(木)セラトピア土岐において、岐阜県警察主催の「安全・安心まちづくり推進大会」の中、代表受賞された泉町連合区会長の島崎成治さんより行われました。この活動は、平成十六年六月に発足し、

当日の「安全・安心まちづくり推進大会」では、

AED講習会(大富区)

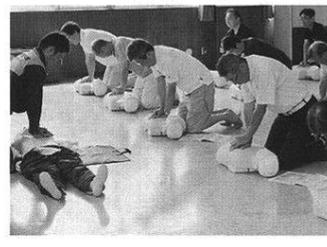
泉の自治だより編集部長 瀬藤 健二

夏本番の八月二十日(日)、泉公民館において大富区(早川区長)主催のAEDを操作した救命処置方法についての講習会が三時間にわたって開催された。

昔は倒れている人がいたら、触らずそのままにしておき救急車を呼ぶ一だったのが、今は救急車が来るまで積極的に対処することに考え方が変わってきている。

主な内容は、ビデオと教本による座学とAEDを操作する実体験。救急車が到着するまでの全国平均時間は約九分。その間の応急処置がいか

か。救急車が来るまでの正しい対処方法を取得する。それがこの講習会の目的。



合区の施策として、各区で毎年消防本部の救命士

により実施されている。区の役員以外の人で参加を希望される方は、各区に申し出れば参加できます。また、AEDの設置個所は土岐市のホームページに掲載されています。



安全・安心まちづくり地域の絆で高輪を